

私は最初この東京研修を軽い気持ちで申し込みました。特に理由もなく、二高は修学旅行などが無いため思い作りなどが出来たら良かったです。ほかの理由としても、志望大学が決まっていなかったり、将来何をしようか決まっていなかったりしていました。

東京研修の準備はとても大変でした。同じ中学の人がいたまでは良かったのですが、知らない人が多く、最初の頃はそこまで話が進みませんでした。また、班員の中に練習が大変な硬式野球部が2人もいたので、その2人となかなか会うことが出来ず意見がなかなかまとまりませんでした。そんな中で班長は少し苛立っていました。その時班長を手助け出来なかったのは反省すべきところです。やっとの思いで企業訪問先が決まりました。それは世界に名を轟かせているいる大企業の三菱重工でした。



訪問先も決まっていくなかで班員達との距離が縮まっていきました。それは大きな前進でした。

そして東京研修の初日がやってきました。行きの新幹線の中では各々がしたいことをしていました。ランプやスマホ、中には宿題をしている人もいまして、とても楽しそうでした。

東京に着いたら、仙台とは比較にならない暑さと人の量に驚愕しました。また、高層ビルも沢山あり、東京が日本の首都ということを感じさせられました。

東京研修最初のイベントは義手制作会社の近藤玄大さんの話でした。近藤さんの話はとても感慨深いものでした。特にこのような事を仰っていました。

- ①「手と足と頭を動かして成功も失敗も」
- ②「色んな人、色んな考え、色んな価値観に触れた」
- ③「一緒に楽しく働けるか、喜んでもらえるか」

①については義手の研究から考え出されたものと思いました。自分の体全てを使うことで色々なことがわかるという意味だと思いました。

②については留学の経験から出たものだと思います。

③については起業した経験から出たものだと思います。

また近藤さんへの質問が3つ出ました

④今までと違うことをすることで抵抗はあるか？

やっているうちに次第に流れが出てくるようで、最初は周りの人は反対するが、徐々に応援してくれるそうです。だから前例が、無いこともしっかりと挑戦すべき

⑤留学での一番の経験は？

海外で同志が出来るので困った時に助けてもらえる。上の②と似ているが環境を変えることで今まで気づけなかったことに気づく。

⑥大量生産大量消費から個人に合わせるモノづくりにするには何が必要か？

昔はマスメディアが情報を大量生産していたが、ネットのブログなどで個人が情報を生産できるようになったように、個人で情報を発信すること。

近藤さんは自分が築いてきた人脈や今までの努力で成功してきた人だと感じました。

近藤さんの話の後はディレクトフォースの人との交流会がありました。ディレクトフォースの人たちは大企業の社長や官僚だった人でとても鋭い人たちでした。そこでは今何をすべきかや将来の仕事について聞きました。まず高校生活で大切なことは自分の複数の夢について考えること。将来の仕事で必要になる体力をつけること。やはり留学は大事でたること。ゴルフなどの個人種目のスポーツをやっておくこと。人の意見に流されないで自分のしっかりとした考えを持ち群れないこと。同じ時間働くなら給料が高いものにした方が行動の選択肢が広がること。

また、なかなか聞けない管理職の経験の話も教えてくれました。裁量権は広がるが責任が重くなる。部下の長所を伸ばし、チーム力を上げる。会社の将来に責任を持つ判断を行う。他にも様々な面白い話がありました。

海外の会社に資金の支払いを求めに行ったら、目の前に拳銃を置かれたことや、若かりし頃のランプに会って金払えと言ったことなど普通の凡人の人生なら体験できないようなことを教えてくれました。この交流会は様々な分野のトップだった人の話を聞いて思ったことがあります。それは世界は広く様々な人がいるということです。

この交流会の後に私は東京研修の目玉である企業訪問にいきました。訪問先は三菱重工です。最初訪問先を決める時に三菱重工みたいな大企業は私達の訪問を断るのではないかと考えていましたが快く承諾してくれました。いざ三菱重工に行くと入口が2つあって私達は最初間違いの入口に行ってしまいました。そこには重厚でとても大きな扉と1人の警備員さんがいました。果たしてあの扉の向こうには何があったのでしょうか。正しい入口に入るとまず目に入ってきたのはとても大きなロケットのエンジンでした。これで宇宙にいけないと思うとゾクゾクしました。

まず始めに三菱のコンセプトムービーを見ましたそこには世界で活躍する三菱重工の技術者の姿がありました。三菱重工の過去から現在そして未来までの構図がハッキリと表さ

れていました。私達は将来航空宇宙の分野に興味があるので三菱重工が開発している MRJ の開発についての説明を受けました。MRJ(三菱リージョナルジェット)は 2007 年から三菱重工を筆頭にして開発、製造をしている国産小型旅客機です。

特別に MRJ の座席に座らせてもらうことができました。とても柔らかく足も伸ばせて快適でした。三菱重工の説明が終わると会議室のようなところで三菱重工の広報の人と 30 分ほど話げできました。そこで私達は事前に送っていた質問の回答と三菱重工のより深い様々な説明を受けました。

利益を出すので重要なことは何か？

→課題の発掘。市場のニーズを掴む

開発で邪魔になるものは何か？

→スケジュール通り進まない。納期の遅延。限られた資金の中でのモノづくり

忙しくなるのはいつか？

→納期が迫ってきた時

働いてて嬉しいことは何か？

→自分が携わった製品が社会に役立ったり、実際に製品が動いているのを見ること

三菱重工で求められる人材は？

→アンテナを広く張り、情報を活用し推察できる人。

コミュニケーション能力が高く、仲間と協力できる人。

三菱重工に行ったことで技術者としての理念や社会で求められていることなどを事細かに知ることができました。

その後私達は時間が余ったので原宿の竹下通りに行きました笑笑。人の多さに吐き気が…笑笑。そしたら平岩君が黒人の人に絡まれて 9000 円の T シャツを買わされそうになっていました。東京の裏面が見れて、私にとっては楽しかったです。

その後ホテルに行って、飯を食べて、二高 OB.OG による座談会がありました。OB の中に 1 人とても面白い人がいて、その人に恋愛相談などをしていました笑笑。そこで学ばたことは大きくこれからの人生に役立ちそうなものばかりでした。部屋に戻り、トランプやゲームなどして、同級生との親睦を深めました。

2 日目は東大見学会でした。理系は農学部に行きました。私は農学部というと何か農業関係のものを研究している学部だと思っていましたが、全く違うものでした。ミクロの構造や遺伝子、森林の応用や食料、農地の有効活用法など、生命科学から生物資源学、環境科学、工学、経済学、社会科学までの広範な学問分野が有機的に結びついた総合科学でした。私は実際に世界で一番小さいものを見れる顕微鏡を覗かせてもらいました。科学の構造式のようなものが沢山あって感動しました。

その後に東大の学生との質問会がありました。そこで私はバイトはしているかや勉強方法など現実的な質問を沢山しました。自分が学生になったら何をすれば良いかの参考になりました。

東大から東京駅に着いてお土産買って、新幹線乗って、寝て、起きて、東京研修は終わりました。

今回の東京研修は自分の未来や夢について知ることができ、自分の良いところ、悪いところが自分で確認できたものになりました。この経験を生かしてこれからの学校生活、これからの人生に役立てていきたいと思います。